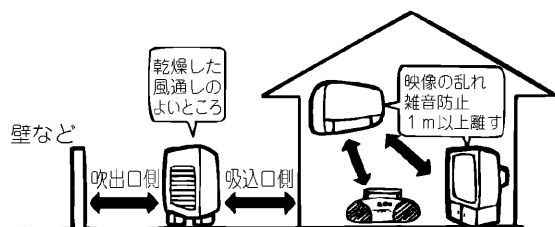
前面パネルを開けたとき

室内・室外ユニット周辺の確認

■下図の距離をあけないと、エアコンの能力が低下したり、テレビやラジオに雑音が入るおそれがあります。

●設置場所に余裕があれば、効率の良い運転のために、できるだけ広い寸法をお取りください。

■火災警報器と室内ユニットの吹出口は1.5m以上の距離をあけてください。

■調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所でのご使用は避けてください。

■床面などにワックスを塗布するときは、運転をしないでください。（エアコン内部にワックスの成分が付着し、水もれの原因となります。）ワックス塗布後は十分換気を行ってから運転してください。

■積雪や植木鉢などで、吸込口や吹出口をふさがないでください。

各部のなまえと働き

リモコン

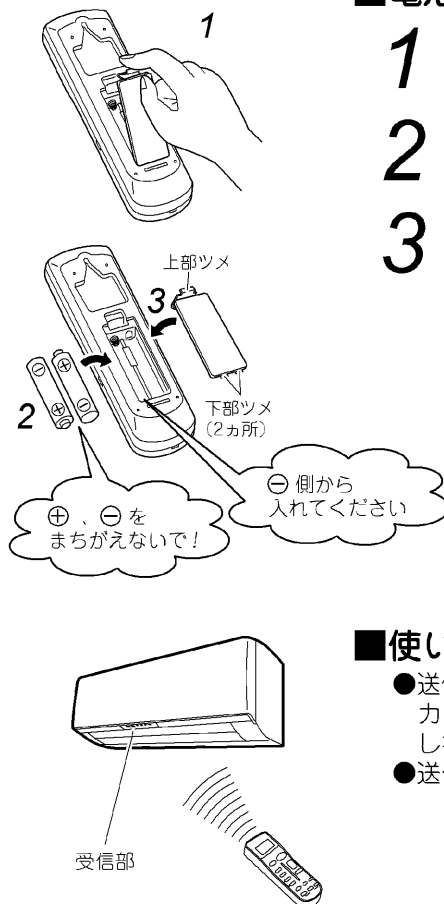
運転前の準備

電池について

- 電池を廃棄するときは、端子をテープなどを巻き付けて絶縁してください。
  他の金属や電池と混じると発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池は、お近くの電器店、時計店、カメラ店などにある電池回収箱に入れてください。
- 交換のめやすは約１年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、２本同時に新しい単４形アルカリ乾電池と交換してください。
- 電池の「使用推奨期限」に近いものは、交換時期が早くなる場合があります。
- 液もれや破裂による故障やけがを避けるため、長期間ご使用にならない場合は、電池を取り出してください。
- 付属の電池は、最初にお使いいただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。
- 単４形アルカリ乾電池以外をご使用になると正常に動作しない場合があります。

リモコンについて

- 落としたり水が入らないようにしてください。（液晶部が破損することがあります。）
- 電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）や、液晶テレビ、プラズマテレビがある部屋では、信号を受け付けにくい場合があります。このようなときには、販売店にご相談ください。
- リモコンで他の電気機器が作動する場合は、電気機器を離すか、販売店にご相談ください。

リモコン

■電池を入れる

1 上部のツメを下へ引き、ふたを開ける。

2 単４形アルカリ乾電池を２本入れる。

3 ふたの下部のツメ２ヵ所を差し込んで、ふたを閉じる。

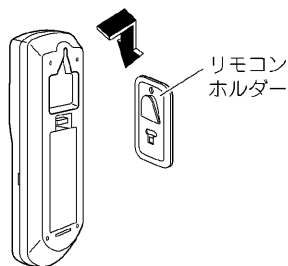
■使いかた

- 送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。
- 送信できる距離は約７ｍです。

■壁などに取り付ける場合

1 信号が受信される場所を選ぶ。

2 リモコンホルダーを付属のネジで、壁・柱などに取り付ける。

3 リモコンの背面の穴をリモコンホルダーの凸部に引っかける。

運転前の準備

室内ユニット

■銀除菌・アレル除去フィルターと光触媒空清フィルターを取り付ける ▶24, 25ページ

■電源プラグをコンセントに差し込む 電源プラグの付いていない機種はブレーカーを入れる

- ●電源プラグをコンセントに差し込む、またはブレーカーを入れると、フラップ（上下風向調節羽根）が一度開き、また閉じます。（故障ではありません。）
- ●エアフィルターが位置合わせのため、動く場合があります。

上手な使いかたについて

- ●適度な室内温度設定は節電につながります。

<おすすめ設定温度>
冷房時…26℃～28℃
暖房時…20℃～22℃

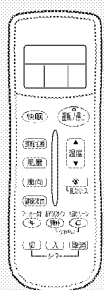
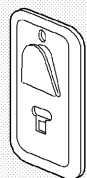
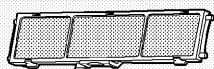
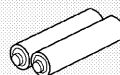
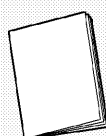
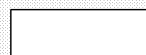
- ●窓にはブラインドやカーテンを使用すると、直射日光やすきま風を防ぎ、冷房・暖房効果を高めます。

知っておいてください

- ●エアコンは運転しないときでも、電力を消費します。▶36ページ
- ●シーズンオフなど、長期間使用しないときは電源プラグを抜くかブレーカーを切ってください。

運転条件

- ●下表の条件以外で運転を続けると、安全装置が働き、運転が停止する場合があります。また、ドライ・冷房運転の場合は室内ユニットに露が付き、滴下する場合があります。

ドライ	
屋外温度	18℃～43℃
室内温度	18℃～32℃
室内湿度	80％以下
冷房	
屋外温度	21℃～43℃
室内温度	21℃～32℃
室内湿度	80％以下
暖房	
屋外温度	－10℃～24℃
室内温度	27℃以下

運転のしかた（自動・ドライ・冷房・暖房・送風運転）

自分に合ったお好みの運転を選べます。

自動運転について

- 自動運転は、運転開始時の室内・屋外温度に応じて、自動で設定温度と運転モード（ドライ・冷房・暖房のいずれか）を選びます。
- 屋外温度を監視しながら最適な温度になるように設定温度を見直します。

暖房運転について

- 屋外温度が下がり、暖まり不足の場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。
- 屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に霜が付き暖房能力が低下します。このようなとき、霜取り運転のため、暖房運転が停止し、風も止まります。この霜取り運転（3～10分間）が終わると再び暖房運転を開始します。
  霜取りにより溶け出した水が室外ユニットの下に流れ出したり、湯気が白い煙のように見えることがありますが、異常ではありません。

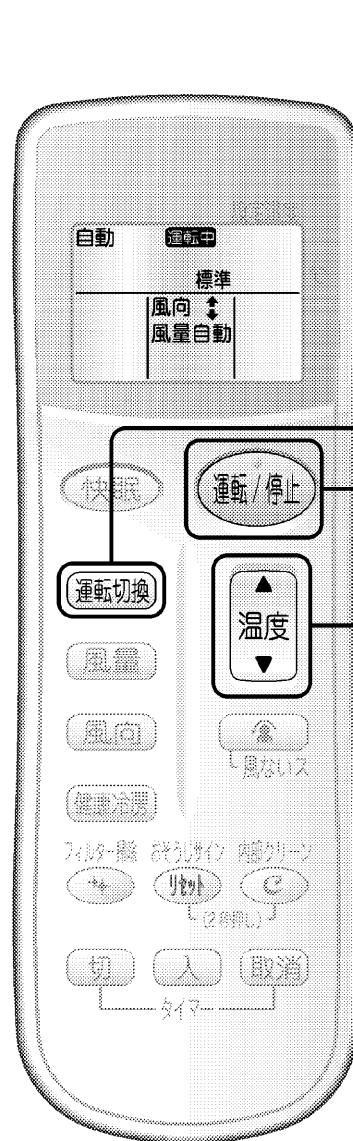
ドライ運転について

- ドライ運転は、弱めの冷房運転と停止を適切に制御して湿気を取ります。
- お部屋の条件、在室人数、屋外温度によっては、室内温度が下がる場合があります。
- リモコン設定と除湿効果、室内温度は次のような関係があります。お好みに合わせて調節してください。

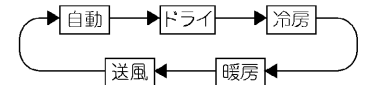
リモコン設定	－2・標準・＋2
除湿効果	高　い ←→ 低　い
室内温度	下がる ←→ ほぼ同じ

- 室内温度より屋外温度が低い場合、除湿効果が低くなります。

お知らせ

- 風量設定が「自動」のとき、自動（運転モードがドライ・冷房のいずれかのとき）・ドライ・冷房運転を開始しても、すぐに運転を開始しません。（室内ユニットにこもったニオイが出るのを抑えるため。）

1 運転切換 を押し 運転モードを選ぶ。

- 押すごとに下記のように運転モードが切り換わります。

自動 → ドライ → 冷房 → 暖房 → 送風 → 自動

2 運転/停止 を押す。

本体の運転ランプ（緑）が点灯

運転

■風向・風量を変えたいとき

▶12, 13ページ

- ドライ運転の場合は風量設定は「自動」になります。風量変更はできません。

温度を変える

運転中に ▲温度▼ を押す。

運転モード	温度設定
自　動	標準－5℃ ～ 標準（※1） ～ 標準＋5℃
ドライ	標準－2℃ ～ 標準（※2） ～ 標準＋2℃
冷　房	18℃～32℃　〈おすすめ温度〉26℃～28℃
暖　房	14℃～30℃　〈おすすめ温度〉20℃～22℃
送　風	温度は変えられません。

（※1）標準…室内、屋外温度から決定した温度
（※2）標準…ドライ運転開始時の室内温度

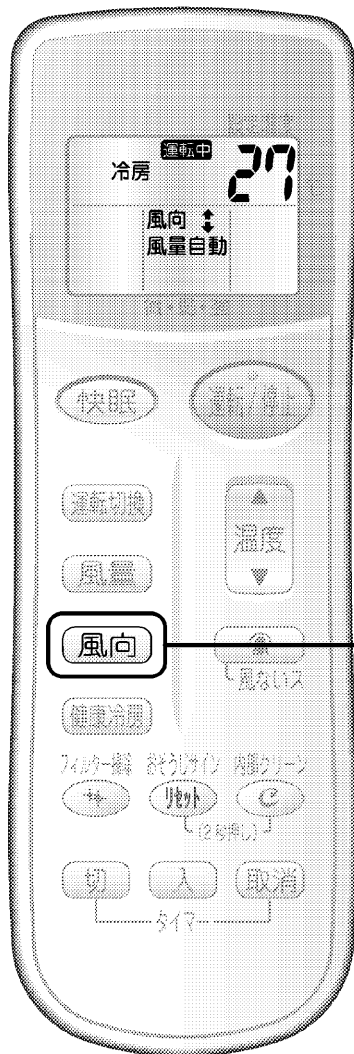
■停止したいとき

運転/停止 を押す。

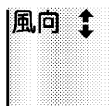
- 本体の運転ランプが消灯します。
- 次回 運転/停止 を押すと前回と同じ内容で運転します。
  （リモコンの電池を交換するまで、前回運転内容は消えません。）

使ってみよう

風向調節

上手な風向調節でより快適な風を。

上下の風向を変える

運転中に

風向 を押す。

●風向表示が点灯します。

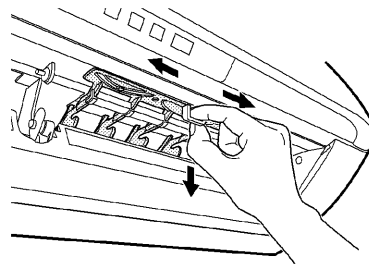
フラップ(上下風向調節羽根)が上下に自動で動きます。

■風向を固定したいとき

再度

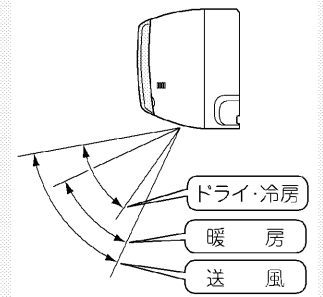
風向 を押す。

●風向表示が消灯します。

左右風向を変えたいとき

ルーバー(左右風向調節羽根)のツマミを持って、下に少しひきながら左右に動かす。

●左右１ヵ所ずつあります。

上下の風向調節について

●フラップ（上下風向調節羽根）の可動範囲は運転モードに応じて異なります。

お願い

上下の風向調節は必ずリモコンで行ってください。フラップ（上下風向調節羽根）を無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。

お知らせ

●室内温度が設定温度よりも高く(低く)なり、室外ユニットが停止している間は、フラップは停止します。フラップが上下に動いているときは、フラップが可動範囲の上限まで移動して停止します。

●ドライ・冷房運転時に下吹きでフラップを停止したまま運転されますと、露が付くのを防ぐために、1時間後に自動的にフラップの角度が変わります。

●左右風向を変えるときは、風向が上向きだと指が入らないことがあります。リモコンで上下風向を下向きに調節してから左右風向を変えてください。